◆第14回 入試問題研究②

今回は入試問題研究です。入試問題を解くのですが、時間を計って、解答用紙に書き込みます。入試問題なので、難問に時間をかけ過ぎずに、問題選定をしながら解く実戦的な学習をします。解答には配点を書いてあるので、WEBを見ながらマルつけをして、得点も出してみましょう。

- ⊙ 問二 接続語の問題です。それぞれの接続語の働きをおさえましょう。
問三 熟語の組み立ての基本をおさえましょう。
問十 筆者の主張をおさえて考えましょう。
- ㊦ 問七 様子を表す言葉をいれる空欄補充の問題です。このような擬態語はほかにもありますので、確認しておきましょう。
問八 「笑いの意図」を聞く問題です。「意図」はねらいという意味です。
問十三 設問の条件が多いので、しっかり整理整頓してから考えましょう。
- 宿題 問四 傍線部の中に指示語がある場合は、その内容を具体化しましょう。
問六 「ふいになって」の意味を確認してから考えましょう。

◆第15回 テーマ別読解演習「科学・文明」①/説明文

今回は説明文の学習で、テーマは科学・文明です。科学・文明は人類に恩恵をもたらしましたが、一方で問題点も指摘されています。筆者は科学・文明に対して、どのような立場で主張を述べているのかをまずおさえましょう。特に注意してほしい問題は、以下の通りです。

- ⊙ 問三 内容の具体化の問題です。「認識の果て」が比喩表現になっているので、そのねらいをおさえましょう。
問五 「根源」の意味を確認してまとめてみましょう。
問六 選択肢の正誤問題は、本文の内容と照らし合わせながら考えましょう。
- ㊦ 問一 脱文挿入の問題です。脱文の指示語や接続語に着目しましょう。
問二 選択肢にあるような二字熟語をしっかりと覚えておきましょう。
問六 理由が書かれている箇所をおさえ、字数制限内に入るように、まとめてみましょう。
- 宿題 問二 接続語の問題は、空欄の前後のつながりをしっかりとおさえましょう。
問七 正誤問題になりますので、文章の内容と照らし合わせて確認しましょう。

◆第16回 テーマ別読解演習「科学・文明」②/説明文

前回到続き、今回も説明文の学習で、テーマは科学・文明です。科学・文明は人類に恩恵をもたらしましたが、一方で問題点も指摘されています。特に近年は「人工知能 (AI)」について書かれた文章が多くなっており、その問題点も指摘されるようになっていきますので注意しましょう。特に注意してほしい問題は、以下の通りです。

㊦ 問一 比喻表現を具体化する問題です。

問四 ここで描かれた世界をうまくまとめましょう。

問七 筆者の主張をしっかりとおさえたうえで、選びましょう。

㊦ 問二 筆者の考えをおさえます。

問三 選択肢にある抽象的な言葉はすべて覚えましょう。

問四 100字以内の長文記述問題です。部分的にほぼ抜き出して答えを作るのではなく、設問にある「本文全体をよく読んで」に注意してまとめてみましょう。

宿題 問二 脱文挿入の問題です。脱文の指示語や接続語に着目しましょう。

問七 筆者の主張をしっかりとおさえたうえで、選びましょう。

いよいよGWも終わり、5年生の学習のペースにも慣れてきたことと思います。日々の学習を大切に、しっかりとがんばってください。学習のリズムをしっかりとつかみ、日々の課題に取り組むスケジュールは確立させていきましょう。くり返しになりますが、この講座をより深く理解するためには、本科教室をきちんと理解することが必要です。この基礎にあたる部分を大切に、取り組むようにしてください。

動画の構成としては、まずは「例題」が各回3～4題収録されています。例題は動画を見ながら解法の手がかりとなる考え方を習得してください。例題の次には、練習問題として、例題の数値替えの問題が収録されています。機械的に数値を入れ替えて答えを出すのではなく、もう一度解法を確認しながら取り組むようにしてください。練成問題は、例題から派生した問題を中心に収録しています。このうち、例題から少し離れるタイプのうち、特に重要なものを動画で扱っています。各回の学習の目安は以下の通りです。

◆第14回 平面図形Ⅱ

第13回で、複合図形の面積の基本的な解法は学びました。今回はさらに発展させて、どんな視点をもって取り組めばよいかを学びます。しっかりと理解を深めて、平面図形を得意にしていきましょう。

① 「例題と練習問題」

例題1－同じ部分を加えて考える

同じ部分を加えた「和も等しい」ことを確認してください。この考え方は、「差」を問われたときにも使いますので、理解を深めておきましょう。

例題2－半径が具体的に分からないときの円の求積

「円の面積＝半径を1辺とする正方形の面積×円周率」でも求めることができます。半径が具体的にわからないときは、半径を1辺とする正方形を作図して、対角線はわからないかな？と考えてみましょう。

例題3－円に接する正方形、正方形に接する円

円も正方形も内側に入っていくと、面積は半分になっていきます。この考えを使うと、1つの円、1つの正方形の面積がわかれば、他の円・正方形の面積もわかりますね。

例題4－作図

動くことができる範囲をきちんと調べるのが大切です。そのとき、「半径」と「中心角」を意識しながら取り組んでいきましょう。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習問題に取り組んで、答え合わせをしましょう。そのとき、間違っていたら、どこで間違えたかをよく理解して、再度解き直しをするということを徹底してください。疑問点があれば、再度例題の動画を見てみましょう。

②「練成問題」

練成問題では、いくつか選択して動画で扱っています。その問題についてはしっかりと理解をしましょう。余裕があれば、残りの問題にも取り組んでください。ただし、理解には段階があります。時期を経て再び扱う問題もあるので、全部解かないといけないと思う必要はありません。

◆第15回 平面図形Ⅲ

特徴のある図形や考え方を扱う問題を扱います。基本的な解法を身につけていきましょう。

①「例題と練習問題」

例題1 一直角二等辺三角形

直角二等辺三角形は正方形を2等分した図形です。どの辺と、どの辺の長さが等しいのかをおさえながら取り組みましょう。

例題2 三角定規(30度、60度、90度)

3つの角度が30度、60度、90度の三角定規を使う問題です。60度の角度をはさんで辺の長さが2倍になることを利用する問題です。「面積を求めなさい」とあるのに、角度が条件としてある場合にはこの考え方をすることが多いです。

例題3 長方形に分割

全体の長方形を、5つの長方形に分割することによって、斜線部分と白部分の「和」と「差」が見えてきます。特徴のある解法なので、しっかりと取り組みましょう。

例題4 三角形の底辺と高さの関係

三角形の3本の辺は、3本とも底辺になることができます。底辺が決定すれば、高さも決定します。この関係をしっかりと理解しましょう。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習問題に取り組んで、答え合わせをしましょう。そのとき、間違っていたら、どこで間違えたかをよく理解して、再度解き直しをするということを徹底してください。疑問点があれば、再度例題の動画を見てみましょう。

②「練成問題」

練成問題では、いくつか選択して動画で扱っています。その問題についてはしっかりと理解をしましょう。余裕があれば、残りの問題にも取り組んでください。ただし、理解には段階があります。時期を経て再び扱う問題もあるので、全部解かないといけないと思う必要はありません。

◆第16回 平面図形Ⅳ

角度の大きさを求めるには、図形の定義を理解しておかないと、条件が不足しているようにみえます。図形の性質は確実におぼえておきましょう。

①「例題と練習問題」

例題1－三角形の外角

三角形の外角の大きさは、となりあう内角以外の2つの内角の和に等しい、ことを利用します。

知らなくても求めることはできますが、これを利用すると、一手少なく解くことができます。

例題2－図形の折り返し

折り返す前の図形と後の図形は合同です。そこから、辺の長さや角の大きさが確定していきます。

例題3－正多角形の組み合わせ

図形に、具体的な角度がかかれていませんが、角の大きさは1つに決定します。なぜなら、正多角形においては、辺の長さ、角の大きさは同じだからです。二等辺三角形に着目しながら取り組んでいきましょう。

例題4－消去算の利用

○や×の具体的な角の大きさはわかりませんが、○と×の角の大きさの和なら、決定しますね。

このように、式を上手く利用しながら、取り組んでいきましょう。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習問題に取り組んで、答え合わせをしましょう。そのとき、間違っていたら、どこで間違えたかをよく理解して、再度解き直しをするということを徹底してください。疑問点があれば、再度例題の動画を見てみましょう。

②「練成問題」

練成問題では、いくつか選択して動画で扱っています。その問題についてはしっかりと理解をしましょう。余裕があれば、残りの問題にも取り組んでください。ただし、理解には段階があります。時期を経て再び扱う問題もあるので、全部解かないといけないと思う必要はありません。